

令和4年度第1回三島市廃棄物処理対策審議会 会議録

1 日時

令和5年3月23日（木）午後2時00分から午後3時30分まで

2 場所

三島市役所本館3階 第1会議室

3 出席者

【委員】内田委員、長島委員、野田委員、橋本委員、平井委員、平川委員、矢岸委員、山下委員、山田委員、渡邊(俊)委員、渡邊(道)委員、渡邊(充)委員

※五十音順、委員15人中12人が出席

【事務局】佐野環境市民部長

廃棄物対策課：橋本課長、鈴木副参事、木村副参事、江間課長補佐、鈴木技術主幹、萩原技術主幹、浅賀会計年度任用職員

4 会議の公開・非公開の別

公開

5 傍聴人

0人

6 審議会の内容

(1) 開会

(2) 委嘱状の交付

団体の役職交代等による新委員4人に対し、佐野環境市民部長から委嘱状を交付

(3) あいさつ

佐野環境市民部長、平井会長

(4) 自己紹介

新委員及び廃棄物対策課職員による自己紹介

(5) 議題

①一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の目標達成状況の報告【資料1】

<事務局から資料に基づき報告>

<質疑応答>

委員：以前から、家庭系ごみは減っているが、事業系ごみが減らないのは、どのような理由からか？

事務局：次の議題に関係しますが、今回、事業者のごみの組成分析も行いましたので、その内容がごみの減りにくい原因かもしれません。

委員：事業系ごみについて、令和2年度で急激に減少したのは、コロナウイルス感染症の影響か？

事務局：実際調査したわけではないが、コロナウイルス感染症の影響を受けたのが飲食店であり、かなりの量が減ったが、令和3年度、4年度と徐々に増加している。このことから皆さん飲食店を利用するようになったのかと思います。

会 長：令和元年度から2年度にかけて減少しているが、その後の経済の回復が見て取れますね。

②ごみ組成分析調査の結果について【資料2】

＜事務局から資料に基づき報告＞

会 長：若干補足していきますと、調査結果では食品ロスとマイクロプラスチックが大きな問題として挙がっています。特に食品ロスについては、食べられるけど捨てられてしまうものが、年間約500万tで、全体の30%ぐらいが捨てられていることが問題であり、令和元年に食品ロス削減推進法が成立したことで、三島市でも、来年度、食品ロス削減推進計画を策定し、食品ロスを減らしていくための基礎資料として、今回の調査を実施したということです。

結果として、特に驚いたことが、三島市でも食品ロスが30%を超えてしまっていることで、今後、計画を策定して食品ロスを削減していく必要があると思いますが、皆様のご意見をお願いいたします。

委 員：フードバンクのようなものは、三島ではできないのか？

事務局：フードバンクではないが、フードドライブを毎年8月と1月に市役所本館1階受付前でそれぞれ1ヶ月間行い、フードバンクに食品を寄付しております。

委 員：三島市でフードバンクはできないのか。

事務局：フードバンクについては、企業などから大規模な寄付があると、食品が余ってしまう可能性もあり、三島市単独で行うのは難しいと思われる。静岡県では、富士市に本部のあるフードバンクふじのくにで行っており、県内すべての市町に食品を配送している。

委 員：買いすぎや直接廃棄などは人間がやることなので、最終的にはヒューマンエラーを無くしていくことが必要ではないか。

会 長：食品ロスに対する市民の意識を変えていく必要があるということです。

③市民・事業者アンケートの調査結果についての報告【資料3の1、2】

＜事務局から資料に基づき報告＞

会 長：自由意見欄があるが、とても大切なので、計画に反映させたら良いと考えますがどうですか。

事務局：自由意見については、内容を精査したうえで食品ロス削減推進計画に反映させていきたいと考えております。

(6) 連絡事項

- ・本日の議題に対する意見、改めて気づいた点等があった場合は、「ご意見等連絡票」に記入し、3月31日（金）までに事務局への提出を依頼した。
- ・次回の審議会は、7月頃に開催する予定で、内容については、食品ロス削減推進計画の策定についての諮問、計画素案の審議を予定。なお、それまでの間に、審議をお願いしたい事案等が生じた場合は、別途、会議開催を案内する旨を説明した。

(7) 閉会